

会 議 要 旨 書

会議名	第 5 期三鷹市生涯学習審議会第 4 回定例会 第 34 期三鷹市社会教育委員会第 4 回定例会
日 時	令和 8 年 4 月 21 日（火） 18 時 30 分～20 時 30 分
場 所	三鷹市生涯学習センターホール
出席委員 (14 人)	田中雅文 矢崎喜美子 齋藤智志 廣瀬圭子 三橋優子 生田美秋 塚田明美 植田幾代 丸岡近賀子 藤橋初美 松田秀穂 加藤綾子 高橋千恵 尾又一実
欠席委員 (4 人)	間部豊 内田直子 進邦徹夫 東山昌央
行政職員 (7 人)	スポーツと文化部長 大朝摂子 スポーツと文化部調整担当部長 平山寛 教育部調整担当部長 寺田真理子 生涯学習課長 八木隆 三鷹市立図書館長 立仙由紀子 生涯学習課総括主査 森宏樹 同主事 遠山萌佳
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0 人
開会に先立ち、スポーツと文化部長から組織改正及び職員の人事異動について報告を行った。 1 開会 事務局より委員の出席状況、傍聴者の有無、会議要旨の公開について報告し、配付資料の確認を行った。 2 議題 (1) 社会教育関係団体補助金等の支出について 【事務局】社会教育関係団体補助金等については、社会教育法第 13 条に定められている「社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議等の意見を聴いて行われなければならない」という規定に基づき、社会教育委員の皆様にご意見をお伺いするものである。 ア 三鷹市芸術文化協会 構成団体、趣旨・目的、補助金額について説明した。 ～委員からの質問、意見なし。 イ 三鷹市文庫連絡会 構成団体、趣旨・目的、補助金額について説明した。 ～委員からの意見なし。	

ウ 自主グループ講師派遣事業

事業の目的、派遣対象、応募団体数等について説明した。

【委員】資料 1－4 の自主グループ講師派遣事業において、3 団体で同一の講師が設定されている。各団体が独立した自主グループであることや、講師が同一となっている理由について説明できる状態であるか。

【生涯学習課長】当該 3 団体については、代表者や構成メンバー、活動場所がそれぞれ異なっており、一部重複はあるものの、基本的には別の団体である。

【委員】もとは一つの団体が分かれたのか。

【生涯学習課長】当該団体の発足時期は把握しているものの、同一団体からの分離かどうかの経緯までは把握していない状況である。

【委員】高齢者自主グループと一般の自主グループの両方に申し込んでいる団体については、いずれか一方のみの採択と理解しているが、その結果として不採択となる団体は生じるのか。

【生涯学習課長】自主グループは 10 団体分の増額により、募集団体数だけ見れば予算内で決定可能である。ただし、高齢者自主グループのみ申請する団体は状況により落選が起り得て、昨年度もそのケースで 2 団体が落選している。

【委員】自主グループの枠を 10 枠増やし、希望団体の採択機会を広げた点は評価している。今後、団体数が増加した場合にも、予算の範囲内で同様に枠を拡充していく方針なのか確認したい。

【生涯学習課長】令和 7 年度の状況を踏まえ、令和 8 年度も 10 団体分の予算を増額している。今後は申請状況等を踏まえ、次年度の予算について検討していく考えである。

【委員】障がい者自主グループは 15 名以上とされており、一般（6 名以上）や高齢者（10 名以上）よりハードルが高い。障がいのある方にとって大規模なグループ形成は難しい面もあると考えられるが、この人数要件の設定理由について伺いたい。

【生涯学習課長】障がい者自主グループについては、実施要綱上、おおむね 15 名以上で構成されることとしている。一般の自主グループ（6 名以上）との差がある点については指摘のとおりである。人数要件を 15 名としている理由については現時点で即答できないが、今後内容を確認し、見直しが可能な部分については検討していく考えである。

【調整担当部長】障がい者自主グループについては、これまで年間を通じた継続的な活動を支援することを目的として制度設計されてきた経緯がある。そうした中で、障がい者の方々による多様な活動の展開を確保していくことは重要であると認識している。今回の御指摘の趣旨も踏まえ、制度の内容や運用のあり方について、改めて確認・検討していく。

【委員】予算により採択団体数に制限があることは理解しているが、新規グループは少人数になりやすい。新規団体も含め、公平に機会が得られるよう検討していただきたい。

【委員】応募団体数と採択予定数を見ると全団体採択も可能に見えるが、数が収まればすべて採択となるのか、それとも内容審査等により不採択となる場合もあるのか確認したい。

【生涯学習課長】応募団体数と採択予定団体数を合計で見ると充足しているように見えるが、高齢者自主グループは 20 団体の上限があるため、高齢者自主グループのみ応募している団体（7 団体）については、状況によっては落選が生じる可能性がある。一方で、自主グル

ープにも併せて応募している場合は、自主グループ（40 団体枠）で採択される可能性がある。

【委員】団体数に余裕がある中で、例えば両方に応募していない団体を優先するなどの調整は行わず、高齢者自主グループ内で厳密に抽選が行われるという理解でよいのか。

【生涯学習課長】採択に当たっては、両制度への応募状況は考慮せず、あくまで利用回数に基づく優先順位により決定している。初回利用者を優先し、利用回数が多い団体ほど順位が下がる仕組みである。そのため、高齢者自主グループのみ応募している団体でも、利用回数によっては落選となる可能性がある。

【会長】全体の予算額で見れば余裕がある中で、高齢者自主グループで落選が生じる一方、自主グループでは枠に余裕が生じる可能性がある。その場合、余剰分を高齢者自主グループへ振り替えることはできないのか。

【生涯学習課長】原則として、まず高齢者自主グループで 20 団体を決定し、その後に自主グループの選考を行うため、枠の振替は行っていない。ただし、結果として予算に余剰が生じた場合には、改めて募集を行うことなどについて検討していく。

【会長】追加募集は自主グループを対象とするのか。

【生涯学習課長】追加募集する場合には基本的には自主グループでの募集が想定されるが、今後の応募状況等を踏まえ検討していく。

【会長】意欲のある団体に対しては、予算の範囲内で柔軟に機会を提供できるような運用が望ましい。

【委員】障がい者自主グループ講師派遣事業については、人数要件の違いに加え、制度の考え方自体が他の自主グループと異なっている点にも着目すべきである。現在は講師謝礼を回数ごとに支払う仕組みとなっているが、講師への謝礼という位置付けではなく、団体が行う多様な活動の一部として講師活用を位置付け、補助金的な扱いとしたほうが、障がい者団体の活動実態に合うのではないかと考える。

【生涯学習課長】本制度は市が講師謝礼を直接支払う仕組みとして設計されているため、現状では講師謝礼としての取扱いを前提に運用せざるを得ない。

【委員】講座内容について、採択に当たり審査は行われているのか確認したい。

【生涯学習課長】基本的には要綱に基づき判断しているが、内容に著しい偏りがある場合を除き、市が内容に踏み込んで不採択とするケースはほとんどなく、最終的には本会議における意見も踏まえ決定している。

【委員】抽せんの具体的な方法について確認したい。

【生涯学習課長】抽せんは対象団体の参加のもと実施している。選考は、まず高齢者自主グループについて、過去の利用回数が少ない団体（初回利用者を優先）から順位付けし、予定数を超えた場合に抽せんを行う。その後、自主グループについては、高齢者で落選した団体も含めて同様に整理し、過去の利用回数に基づき順位付けを行い、必要に応じて抽せんを実施する。

【会長】本事業は市民の自主的な学習活動を支援する重要な事業であり、できる限り参加機会が確保されるような運用が望まれる。

(2) 議題(2)「三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会議の意見」の策定に向けた検討について

事務局より、「三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会議の意見」の策定に向けた検討について説明を行った。

会長より、「中央教育審議会生涯学習分科会社会教育の在り方に関する特別部会 答申に向けた骨子」について補足説明を行った。

(グループ討議)

各グループより、検討内容の発表を行った。

(3) 令和8年度予算概要掲載事業について

事務局より、令和8年度予算概要掲載事業について説明を行った。

3 報告

事務局より、東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について報告を行った。

定期総会出席委員より、報告を行った。

4 その他

事務局より次回の日程について案内を行った。

日時：令和8年6月23日（火） 18時30分から

場所：生涯学習センター ホール

【会長】以上をもって、第5期三鷹市生涯学習審議会及び第34期三鷹市社会教育委員会議第4回定例会を終了する。

—閉会—